

道徳科学習指導案

指導者 中村 基子

1 日 時 平成 29 年 11 月 1 日 (水) 5 校時

2 学年・組 第 1 学年月組 28 名

3 主 題 名 ともだちとなかよく <内容項目 友情・信頼 B (9) >

4 教 材 名 およげないりすさん (わたしたちの道徳)

5 ね ら い りすを一人ぼっちにしてしまった、かめたちの気持ちや、一人ぼっちになってしまったりすの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちを考え、友達と仲良くし、助け合っていこうとする心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

人間は、互いに支え合い、助け合う中で社会生活を営んでいる。その基盤となるのは、他者を理解し、認め、信頼し合える関係である。学校においては、さまざまな学習活動を通して、友達と助け合い、互いを認め合い、理解し合い、信頼感や友情を育てることが大切である。

この段階においては、幼児期の自己中心性がまだ残り、友達の立場を理解したり、自分と異なる考えを受け入れたりすることは難しいことも多い。友達とよりよい人間関係を気付くには、誰とでも進んで関わりを持ち、相手の立場や気持ちを考え行動しようとする意欲を持たせることが大切である。

生活を共にしながら、仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し、助け合ったりする経験を積み重ね、友達のよさをより強く感じるようになる。身近にいる友達と仲良く活動し、助け合うことの大切さを実感させたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく、困っているとそっと手助けをすることのできる児童が多い。2 学期も後半になると、学校生活に慣れ、学習活動や日常の生活を通じて、友達同士のつながりをより深めている。お茶をこぼした友達の床そうじを手伝ったり、図書ファイルが見つからないと一緒に探したりなど、一緒に遊ぼうと声をかけたりなど助け合う様子が見られる。しかし、まだ自己中心的にふるまうことも多く、相手の気持ちや立場を考えることができず、自分の好き嫌いで遊び仲間を選んだり、ときには友達であっても仲間外れにしたり、自分の気分で周りの友達を厭な気持ちにさせたりすることもある。そこで、相手の立場や気持ちを考え、誰とでも進んで関わりを持ち、助け合おうとする心情を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、池のほとりで、あひる、かめ、はくちょうが池の中の島で遊ぶ相談をしているところに、一緒に連れて行ってと言うりすに、泳げないからだめだと断ってしまう。しかし、島で遊んでいても、りすのことが気になって楽しくない。次の日、りすに昨日のことを謝り、今度はりすを背中に乗せて、みんなで島へ向かう。

友達と仲良く遊ぶことのよさや、友達のことを考えて助け合うことの大切さについて考えることのできる教材である。

仲間外れの状況は、低学年における友達のトラブルとしてよく見られる状況である。こうした場面について考えることを通して、友達と仲良く助け合うことについて考えを深めることができる。かめ、あひる、はくちょうの気持ちを考えるとともに、一人ぼっちになったりすの気持ちについても考えさせ、自分のことだけでなく、友達の気持ちも考え、仲良く助け合うことが大切であることに気付かせたい。

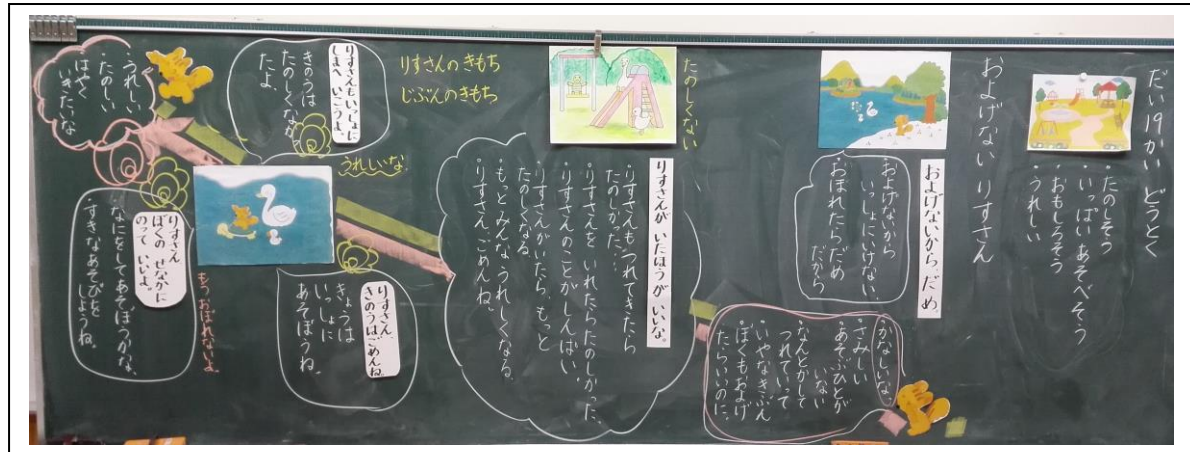
7 考えを深め合う授業の工夫

- ・紙芝居で提示し、かめたちやりすの気持ちに寄り添って考えられるようにする。
- ・表情のある場面絵で、かめたちやりすの気持ちを考えられるようにする。
- ・中心発問の場面で、役割演技を取り入れ、かめたちやりすの気持ちを考えられるようにする。
- ・終末は、写真の提示をして、暖かい雰囲気で終わるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・公園へ遊びにいくときの嬉しい気持ちを想起する。	一斉	遊具がたくさんある公園に行くとき、どんな気持ちですか。 ・いっぱい遊ぼう。 ・楽しそうだな。	・公園へ行くときの、期待感や嬉しい気持ちに気付かせる。	・公園の写真
展開	・教材を読む。	一斉	りすをおいていったみんなは、どんな気持ちで「りすさんは、だめ。」と言ったのでしょうか。 ・りすさんは泳げないからだめだ。 ・泳げないとおぼれるよ。 ・ごめんね。でも泳げないからしかたないよ。 ・ちょっといじわるかなあ。 島で遊んでいたとき、どんな気持ちだったでしょう。 ・りすさんがいないと楽しくないなあ。 ・りすさん、どうしてるかなあ。 ・りすさんに悪いことしたなあ。 ・りすさんも一緒に遊びたいな。 みんなで島へいくとき、かめたちはどんな気持ちだったでしょう。 ・りすさん、きのうはごめんね。 ・一緒に何して遊ぼうかな。 ・りすさんも一緒だと楽しいね。 ・みんなと一緒にだとうれしいな。 かめさんたちに言ってあげたいことはありますか。 ・りすさんにやさしくできて、よかったね。 ・りすさんの気持ちを考えられてよかったね。 ・みんなで仲良く遊べて楽しかったね。	・登場人物の気持ちを考えながら、聞くようにする。	・紙芝居 ・挿絵等 ・お面
	・りすをおいていったみんなの気持ちを考える。	一斉		・場面絵を掲示して、仲間はずれにしたみんなの行動とりすの気持ちをとらえる。 ㊦そのとき、りすさんはどんな気持ちだったでしょう。	
	・島で遊んでいた時の気持ちを考えさせる。	一斉		・りすが気がかりで、楽しくなくなってきた気持ちをとらえさせる。	
	・次の日、一緒に行くことになったときの気持ちを考えさせる。	一斉		・役割演技で、かめ、はくちょう、あひる、りすの気持ちを考えさせる。前日からの気持ちの変化をおさえる。 ㊦そのとき、りすさんはどんな気持ちだったでしょう。	
終末	・自分の生活を見つめる。	個別	かめさんたちに言ってあげたいことはありますか。 ・りすさんにやさしくできて、よかったね。 ・りすさんの気持ちを考えられてよかったね。 ・みんなで仲良く遊べて楽しかったね。	・喜びりすに共感させる。	・写真
	・自分の生活を見つめる。	個別		・友達と仲良くすることのよさに気付かせる。	
終末	・みんなでクラスの様子を振り返る。	一斉	・友達のことを考えながら、写真を見たり、生活を振り返ったりする。	・友達と仲良くしている場面の写真を見て、温かい雰囲気で行くようにする。	・写真
	・振り返りを書く	個別			

9 板書計画



9 板書計画

